



地域包括支援センターNews

地域包括支援センターが、みなさんの生活をサポートします。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように支援を行う総合機関です。

介護保険や介護予防サービスをはじめ、福祉、医療、権利擁護などの支援を行うなど、暮らしやすい地域にするための様々な仕事をしています。お気軽にご相談ください。

地域包括支援センターでは、こんなことを行います。

① 介護予防 ケアマネジメント

介護予防の推進をします。



② 総合相談と支援

介護保険だけでなく、さまざまな制度の利用につなげる支援などを行います。



③ 権利擁護

虐待の早期発見、人権や財産などの高齢者の権利を守ります。



④ ケアマネジメント支援

よりよいサービスが提供されるよう、ケアマネジャーの後方支援をします。



【問い合わせ先】 伯耆地域包括支援センター（総合福祉課 総合生活相談室内） ☎68-4632

まちのわだい



TOWN TOPICS

まちのわだい募集

【問い合わせ先】
地域再生戦略課
町づくり推進室
☎68-3113

第6回日本イベント大賞に入選

昨年7月に植田正治写真美術館で行われたコミュニティアーティストイベント「水と光、そして輝き」が、第6回日本イベント大賞で入選に選ばれました。

日本イベント大賞は、日本で唯一のイベント表彰制度で、イベントの発展とイベントによる産業振興を図ることを目的に（社）日本イベント産業振興協会が実施しています。

入選したイベントは、美術館の外壁をスクリーンに、色鮮やかな植物やニシキゴイなどの映像を投影し、ブラスバンド・和太鼓などの生演奏とコラボさせたもの。

多くの観客が幻想的な空間を体験したこのイベントは、「大山山麓の景観を生かした良質なイベントのモデルとなる」と高い評価を得ました。



コミュニティアートイベントの様子（昨年7月）

地デジの準備は

お済みですか？

アナログ放送終了まであと4カ月

「地デジ化」済みですか？

テレビの地上アナログ放送は、7月24日に終了し、地上デジタル放送に完全移行します。また、BSアナログ放送も7月に終了しますので、併せて準備をお願いします。



アンテナ受信で地デジを見るためには？

地上デジタル放送は、UHFの電波を使って放送されているので、デジタル放送を受信するためには、UHFアンテナの設置が必要です。マンションなどの集合住宅では、共同アンテナの改修が必要な場合があります。

地上デジタルチューナー無償給付

市町村民税非課税世帯で、デジタル対応機器をまだお持ちでない世帯へ、地上デジタルチューナー1台が無償で給付されます。チューナー給付を希望される方は申請してください。

申込期限 7月24日まで

申込方法

申請書に記入の上、必要書類を添えて、総務省地デジチューナー支援センターへ送付してください。申請書は役場にあります。

【問い合わせ先】 地域再生戦略課 町づくり推進室 ☎68-3113

日々の努力が評価され

日本海新聞ふるさと大賞受賞

二部地区活性化推進機構と伯耆町丸山の前谷健祐さんが、日本海新聞ふるさと大賞を受賞し、表彰式が2月25日に伯耆町役場で開かれました。

日本海新聞ふるさと大賞は、新日本海新聞社が長年にわたる地域貢献や、スポーツで優れた成績を残した個人や団体を表彰するものです。

二部地区活性化推進機構は、過疎化と高齢化が進む二部地区に新しい発想で活力を甦らせようと平成11年に設立。住民アンケートや研修会・特産品開発などを積極に行い、地域おこしを目指し、成果を挙げたとして受賞しました。

前谷健祐さんは水泳・高飛び込みの選手で、第65回国民体育大会少年男子で2位、2010年度中国高校総合体育大会では見事優勝をかざり、勇気と希望・感動を与えたとして受賞しました。



日本海新聞ふるさと大賞の受賞者たち（日本海新聞提供）

食と地域の交流を通じた地域活性化を目指して

二部地区活性化推進機構が、特産品開発・販売のノウハウやヒントを学ぶため、3月6日に二部公民会で講演会を開催しました。

講師は、大手食品会社などで商品企画・開発の担当を経験した㈱キースタッフの鳥巢健治代表取締役。消費者が購入しやすい加工特産品や、これから需用が増すビジネスモデル、実際に成功した特産品開発の例などのお話に、町内外からの約40名の参加者は、興味深く耳を傾けていました。



講演会の様子

でんわ急げ！
デジサポへ

地デジに関するご相談は、いつでもお気軽に「デジサポ鳥取」までお電話ください。

受信相談
専用電話

0857-33-4800

平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~18:00